令和3年度

学生によるオレンジリボン運動

和光大学 実施報告書



実施主体 和光大学かんのゼミ 3 年 実施内容 大型商業施設や公的機関での子育て世代をメインとした PR 活動

①事前に取り組んだ内容

和光大学は東京都町田市にあり、かんのゼミは子どもの心理学を学んでいるゼミである。2018年から参加した「学生によるオレジリボン運動」は、今年度3年生10名が中心になって活動している。

事前学習として、5月から児童福祉に関するキーワードを調べ、用語説明の発表を行いながら学んできた。そのうえで、6月に町田市子ども家庭支援センター、9月に東京都児童相談センターの職員から講話を受け、通告時の保護者とのやり取りを想定したロールプレイなどで現場の実状を学んできた。



町田市子ども家庭支援センターの職員による講話の様子

講話は昨年のオレンジリボン運動の活動報告を Twitter で見てくれていた町田市子ども家庭支援センターの職員の方が、「一緒に何かやりませんか?」と声をかけてくださったのがきっかけであった。複数回による打ち合わせでゼミ生から企画の提案を行い、具体的に何ができるか検討した。他にも、ゼミ生が出向いているひとり親家庭支援のボランティア先にも

他にも、ゼミ生が出向いているひとり親家庭支援のボランティア先にも アプローチし、学術学会の児童虐待をテーマにした研修会でも報告するこ とになった。また、先輩から引き継いできた POP 展示も町田市立鶴川駅前 図書館と交渉し実施することになった。さらに、町田市の隣の神奈川県相 模原市にある市民・大学交流センター「ユニコムプラザさがみはら」の交 流スペースを借りることができ、ポスター展示をすることになった。

そこで、以下の内容が固まり、PR に向けて事前に準備を進めた。

- 1) 町田市役所:ポスターの掲示、チラシの配布、児童虐待防止のメッセージのツリーへの飾り付け。
- 2) 大型商業施設:町田市子ども家庭支援センターと協働で南町田グランベリーパーク内でのチラシの配布、スターバックス店内に設置されるコミュニティボードの制作。
- 3) 町田市学習支援事業ひとり親家庭の学習支援教室:「オレンジリボン運動クイズ」の実施。
- 4) その他の公共機関:公的機関の保育室の横、市民・大学交流センターでのポスター展示、町田市立鶴川駅前図書館での POP 展示。
- 5) 学術団体研修会、大学生交流団体:オレンジリボン運動の周知と活動 報告。
- 6) オリジナルTシャツの制作:ゼミ生がデザインしたTシャツを発注。
- 1) \sim 6) の活動の様子は、ゼミの Twitter、Instagram に定期的にアップすることになった。



↑町田市役所での作業の様子



(左)スターバックスでのコミュニティボードの制作風景 (右)オリジナル T シャツ

②実施期間に取り組んだ具体的内容

1) 町田市役所でのチラシ配布、ポスター・ツリー展示

町田市役所内でのポスターの掲示、チラシの配布を1日2人で11月上旬、4日間に渡って行った。児童虐待防止のメッセージのツリーも展示し、多くの市民に立ち寄ってもらった。





↑町田市役所の展示ブース

2) 町田市子ども家庭支援センターと協働し大型商業施設でのチラシ配布 &スターバックス店内のコミュニティボード掲示

大型商業施設「南町田グランベリーパーク」では、マスクやウェットティッシュなども入れたチラシセットの配布を1日4人で11月に2日間にかけて累計400部のチラシを配布した。またグランベリーパーク内のスターバックスにて、町田市の子育て支援に関する情報を記載したコミュニティボードを設置し、子育て支援HPのQRコードをつけた。なお、活動期間中は、SNS(Twitter・Instagram)での活動報告も行い、オレンジリボン運動を行っている他の団体とも情報をシェアした。



↑配布したパンフレットのセットと配布場所の様子



↑スターバックスに掲示したコミュニティボード

- ※ 1) と2) は町田市子ども家庭支援センターと協働しながら取り組んだ。
- 3) 町田市学習支援事業ひとり親家庭の学習支援教室での「オレンジリボン運動クイズ」

町田市学習支援事業であるひとり親家庭の子どもを対象にした学習支援 教室では、ゼミ生がボランティアに出向いている縁で、オレンジリボン運 動に関するクイズを小中学生の子どもたちに行い、189 ダイヤルを知って もらった。



↑「オレンジリボン運動クイズ」の風景

4) その他の公共機関

ユニコムプラザさがみはらと町田市生涯学習センターの保育室の横にポスターを掲示した。ユニコムプラザさがみはらでは、児童虐待死事件などテーマ別ポスターを掲示した。また、大学近隣の町田市立鶴川駅前図書館には児童虐待や子育てに関する書籍の POP を展示した。



(左)児童虐待死事件の概要をまとめたポスター (右)保育室の横に設置された PR ポスター







(右)POPの一例

5) 学術団体研修会、大学生交流団体での報告

日本精神衛生学会の児童虐待をテーマにしたオンライン研修会にて、ゼミ生2名がオレンジリボン運動の活動報告を行った。また、地域の学生団体が集う「ガクマチEXPO」でも報告し、オレンジリボン運動への関心を高めてもらった。



(左)日本精神衛生学会オンライン研修会 (右)地域の学生団体が集うオンライン交流会

<かんのゼミ Twitter、Instagram>

Twitter https://twitter.com/kanno_wuzm

Insta https://www.instagram.com/kannozemi/

③オレンジリボン運動を終え 7...

スターバックスに設置した コミュニティボードを見た乳 児のいる母親から、「ボード みました!とても素敵な試み ですね!」「パパママたちの リフレッシュ場所に設置され ていて(中略) 乳児と一緒で したがリラックスできまし た」と Twitter でメッセージ をいただいた。反応をくれた 方が乳児の子育てをしている 女性だったため、自分たちの 活動が情報を必要としている 人に届いたことを実感でき た。

活動を通して難しいと感じ たことは、子育て世代をター ゲットに絞ったことで、「虐 待」という直接的な単語を使 用するのが厳しかったことで ある。また、ある公的機関に ポスターの掲示を試みた際 に、協議に時間がかかってし まい、掲示が間に合わなかっ た。上記を含め全体的に準備 期間が十分ではなかったた め、来年以降は夏季休業期間 から活動を開始できるよう、 スケジュールの調整を行って いきたい。



↑市の担当者との打ち合わせ風景



返信先: @kanno_wuzmさん

ボード見ました!とても素敵な試みで すね!

福祉情報は、本当に必要としている人 には届きにくいですが、ババママ達の サフレッシュ場所に獣蓋されていて、 スマートだなと思いました^^. また、子連れ入店も歓迎してくれる店 錘なんだな、と受け収ることもでき、 乳児と一緒でしたがリラックスできま したの

↑寄せられたメッセージ(一部加工)



↑スターバックスでの作業風景



【和光大学】 https://www.wako.ac.jp/